

公民館通信



2019年
12・1月号
No.287

毎年デザイン
が変わるんだ。



公式キャラクター

ちっちくん

「たつきつず」のサポートで練習を何度も重ね、当日を迎える。歌あり、合奏あり、ダンスあり。

児童館の時間が「楽しく貴重な時間」だと語る新井さん。取材に対しては謙虚で真摯。子ども達に接するときの表情と眼差しは優しい。将来の夢は教員。とてもとてもとても、楽しみだ。

たのしいまち

編集：たのしいまち編集委員

発行：多摩市立永山公民館 ☎206-0025 多摩市永山 1-5 ☎042(337)6661 FAX042(337)6003
多摩市立関戸公民館 ☎206-0011 多摩市関戸 4-72 ☎042(374)9711 FAX042(339)0491



子どもにも視線を合わせて

ひびくネットワーク

TaTsuKids たつきつず

代表 新井 達也 さん

唐木田児童館で活躍する「たつきつず」。中央大学文学部教育専攻の学生ボランティア団体で、メンバーは現在34名。目印は黄色いTシャツ。7代目代表としてサークルをまとめるのは、埼玉県出身の3年生、新井さんだ。胸の公式キャラクター「ちっちくん」がかわいい。活動の基本は「子ども達のために」をモットーに、子ども達と話し遊ぶこと。他に、イベントなどの準備やお手伝い、掃除など裏方仕事もする。

そして、笑顔と感動がある。秋は、主に創作ゲーム。昨年は「江戸にタイムスリップ」。それ以前は、「VS たつきつず」「ちぎり絵で巨大アート制作」など。館内に展示されている笑顔いっぱいの写真からは、子ども達の歓声が聞こえてきそう。今年「絵本の世界で大冒険」。タイトルだけでドキドキする。2年前に実績が認められ、青少年対策協力者として多摩市より功労賞を受けた。結成のきっかけは、三枝児童館長の呼びかけとそれに応えた大学の先輩「たつき」さんだった。個人情報やケガに配慮し、写真は撮らない、アクセサリを外すなどのルールを作った。イベント実施時には、社会人になった卒業生が駆けつけてくれることも。今では、ハロウィン in 多摩センターなど様々な行事の協力依頼も来るようになった。

ミニイベント「たつきつずたむいむ」は、月に1〜2回ペースで開催してきた。「きせかえイラストを作ろう」「対決！ドッジビー」など楽しい催しを行なっている。既に64回を重ねたが、心に残るのは「スライムづくり」。色作りを研究し、子ども達も80人近く集まったそう。春の「カラコレ」は唐木田児童館発表会。得意なこと、やってみたいことを子ども達と仲間同士で発表し合う。本番までに「たつきつず」のサポートで練習を何度も重ね、当日を迎える。歌あり、合奏あり、ダンスあり。